

# 回 覧

## 野焼き・草焼きの注意事項

- 1 生えたままの枯草は燃やさないで下さい。枯草は刈り取った後、一定の場所に集めて燃やすようお願いいたします。
- 2 風速、風向には注意し、強風の場合は実施しないで下さい。(特に、強風注意報、乾燥注意報が発令されている時は中止して下さい。)
- 3 消防団の可搬ポンプの設置、団員の警戒配置が完了してから燃やすようお願いいたします。
- 4 野焼きの周囲にある燃えやすいものは排除し、近づけないで下さい。また、延焼防止のため、周囲には事前に水を掛けるようお願いいたします。
- 5 残火は確実に消し、完全な消火を確認して下さい。
- 6 助燃材(灯油等)を使用する際は、容器を置く位置、点火する場所などに注意して下さい。また、着衣等に灯油等が付着した場合は、草焼きには絶対に参加しないで下さい。(参加する場合は、着替えた後をお願いいたします。)

# たき火火災 ワースト1



岡山市消防局管内では、4年連続たき火を起因とする火災がワースト1位となっています。また、速報値ではありますが、令和2年の件数が、42件と過去10年間で最も多い数値となっています。下記に記載している事例を参考に、注意事項を十分に守ることで、火災は防ぐことができます。1件でも火災を減らし、安全、安心な街にしましょう。

管内出火原因グラフ（過去4年分）\*件数

	たき火	たばこ	こんろ	放火	その他
令和2年 2020年 [速報値]	42	21	13	19	...
令和元年 2019年	40	19	12	12	...
平成30年 2018年	40	23	15	7	...
平成29年 2017年	37	26	14	29	...

## 岡山市でのたき火火災事例

### 事例1

1月の11時頃、岡山市において、せん定くずを焼却してその場を離れていたところ、たき火の火の粉が風に煽（あお）られ、山すそに飛び火し近くの落葉に着火し周囲へ延焼拡大した。



### 事例2

2月の10時頃、岡山市の自宅敷地内において、刈り取った枯草を燃やして一度消火したものの、火種が残っており、再び燃えだして隣接する物置へと延焼拡大した。

## たき火火災予防チェックリスト



**水や土で消火する準備はできていますか。**

※完全に消火しないと再び燃えることがあります。  
一旦燃え広がると熊手では消せません。



**周りに燃えやすい物はありませんか。**

※2分で2メートル程度火が動きます。  
たき火から納屋を燃やすことがあります。



**どこまでの範囲を燃やす予定ですか。**

※火をつける前に、どこまでをいつまで燃やすかを決めてください。  
一時的に離れては絶対いけません。

野焼き等をする場合は関係法令を遵守してください。  
消防署への届け出が必要な場合があります。



お問い合わせ

岡山市消防局 (086)-234-1199

たき火火災  
予防啓発動画